

～勇気ある決断～

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 竹ノ内賢一郎
◆編集責任者／担当 副会長 上田康文 ◆制作・編集 第42期広報委員会／委員長 石原 効

年頭のごあいさつ

鳥取県西部中小企業青年中央会
第42期 会長 竹ノ内賢一郎



新年明けましておめでとうございます。

本年度第42期の活動も無事に半期を終え、後半戦に
一歩踏み出すことが出来ました。不安と重圧でいっば
いだった7月の総会から、様々な事業を展開して
いただいた会員の皆様、そして温かい目で見守って
頂いたOB会員の皆様をはじめとする関係各位の
皆様のご協力に心より厚く御礼申し上げます。

本年も変わらずよろしくお祈り申し上げます。

昨年を表す漢字には「金」が選ばれました。「金」が選
ばれるのは3度目とのこと。リオデジャネイロオ
リンピックでの日本選手の金メダルラッシュには日本
中が勇気づけられました。他方、熊本地震、相次ぐ台風

被害のほか、鳥取県中部地震も発生し鳥取県中部を中心に大きな被害が生じました。日ごろから災害への意識を高め、防災対策を講じておく必要性を改めて強く感じた1年でもありました。心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈りいたします。

本年度は『翔人』をスローガンに、この地域の空を大きな羽を広げて翔ける人間になるべく、鍛錬の場としての活動を6つの委員会ですターしました。それぞれの委員長・委員会が知恵を出し合い、会員それぞれが使命感を持って活動し、一歩ずつ成長し、一年間の活動の集大成として、飛び立つ準備をしています。まだまだ道半ばではございますが、地道な一歩を歩み続けたいと思います。

今年、当会の継続事業として昨年度に引き続き「大山お地蔵さまフェスティバル」を企画しています。会員全員の知恵と力を結集して、大山とお地蔵さまを通して地域の子どもの心を育むことができる事業にしていきたいと思っております。

「酉」は「取り込む」に繋がり、運氣もお客も取り込めるということで、商売繁盛に繋がるともいわれていますが、我々を取り巻く経済環境は厳しく、いまだ様々な問題を抱えております。このハードルを乗り越えるために英知を結集し、会員それぞれが地域経済の一助となるように活動を行って参りたく考えております。この地に生まれ、この地で活動をする我々の使命感を常に考え前進してまいります。

本年の皆様のご健勝・ご多幸をお祈りすると共に、今後とも当会へのより一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

12月例会開催

平成28年12月15日(木)皆生温泉松涛園で12月例会が開催された。担当は匠委員会。



まず、竹ノ内会長より「今日は『伝統文化の精神と魂の継承』ということで、大柄先生にお越し頂いた。各企業も次世代をどうやって育成していくかを非常に悩んでいるが、伝統文化もどのように次の世代に繋げていくか悩まされている。今日はそういった話も聞いて、ぜひ伝統文化の世界にも興味を持って頂きたい」と挨拶された。

続いて新入会員バッジ授与があり、高下会員が「未熟者ですが一生懸命頑張ります」小坂会員が「バッジに恥じることはないよう自覚をもって活動していきます」とそれぞれ抱負を述べた。

続いて当会より山進運輸(株)新社屋完成のお祝が山口県出向監事に贈られ「皆様からお祝い、励ましのお言葉などを頂きありがとうございます。それにお応えできるよう精一杯がんばっていきますので今後ともよろしくお祈りします」と挨拶された。

委員長タイムは政治ビジネス委員会の



田中委員長が担当。自身の仕事内容を詳細に説明され、建築物完成後は「施主さんに大事に楽しく住んで頂く事が何よりの喜びです」と話された。



12月例会では『伝統文化の精神と魂の継承』をテーマに太鼓職人の大柄重人(おおえしげと)氏を講師としてお招きした。村田委員長より「伝統技術を体験し、それを発信することで、伝統文化の保護と継承、さらには鳥取県西部の活性化に繋がると考えている」と趣旨説明があった。



講演で大柄氏は「神社、仏閣でも太鼓を使うが、ほとんどの伝統芸能、伝統文化では太鼓が使われている。地域の伝統芸能を盛り上げて、次の世代に繋げていく運動が全国各地で行われている」と説明された。大柄氏自身も、日南町に太鼓の音を響かせたい、若い時のように熱中できることをと、和太鼓団体『奥日野源流太鼓』を結成された。「地域の伝統芸能は、地味でなかなか結果がでないが、一生懸命やることで光っていく。あってもなくてもあまり困らなさそうだが、ないと困るのが太鼓である。普段意識しないのが太鼓



であって、そういった空気のような存在であるのが太鼓の魅力」と語られた。

続いて行われた匠体験では大柄氏指導のもと、会員全員で太鼓造りに挑戦。四苦八苦しながらも楽しみながら、太鼓造りを全員で体験した。

最後に浜田貴稔副会長が大柄氏への謝辞とともに、「伝統文化は地域地域にありながら、体験することはあまりないが、我々は中央会として、企業として、個人として地域の宝にもっと興味をもって携わりながら次の世代に繋げていく責任世代ではないかと思う。我々も地域の宝を学びながら、鳥取の良さ、西部の良さを広めていきたいと改めて感じた例会になった」と挨拶され閉会した。

(記事:福島)



12月例会を終えて

匠委員会 委員長 村田 博
(村田家(株) 代表取締役)



まずもって会員の皆様、師走の大変お忙しい中、匠委員会の12月例会にお越し頂き、大変感謝申し上げます！

今回は2部構成の例会と致しました。第1部では、『伝統文化の精神と魂の継承』と題しまして、奥日野源流太鼓 代表 大柄 重人様にお越し頂き、その精神・想いをご講演頂きました。「古来より祭りや芸能など人々の生活の中心に太鼓の響きがあった。太鼓には人と人とを結ぶ大きな力がある。多くの人に太鼓の魅力を感じてもらえるように発信したい」と語られ、魂をこめたお話に会場の空気がピリッとしました。その後は会員全員で和太鼓制作に取り掛かりました。まず地元の経済人である我々が地域の魅力や伝統文化を学び、体験し、伝えることが肝になる部分だと思えます。みんな初めての経験だったと思いますが、童心に返って楽しむ姿を見て、この度の例会を企画して良かったなあと感じました。

第2部では、委員会対抗ジェスチャーゲームやオークションを取り入れた、忘年懇親会を企画致しました。オークションに出品頂いた五役の皆様、積極的に参加して盛り上げて頂いた会員の皆様、ありがとうございます。あっという間に折り返し地点。皆様、下期を更なる飛翔の年にして行きましょう！

最後に委員会メンバーのみなさん、頼りっぱなしで迷惑をかけますが、やっぱり頼りにしています。まずは上期、お疲れ様でしたと共にありがとうございました！！

1月新年例会に向けて

総務委員会委員長 高塚 康治
(株式会社オートメーション 常務取締役)



「本気のおもてなし」

第42期 総務委員会のテーマは「本気」です。来賓、OBをお招きしての大切な事業、1月新年例会においても「本気のおもてなし」を考え、企画実施いたします。それには、会員の皆さんのお力添えなくしては成

し得ません。新入会員の方も、目の色を変え、本気で練習に取り組んでおります。総務委員長は、ただただ安心して見守っているところです。そして、尺八奏者のき乃はち様をお呼びし、新年の幕開けにふさわしい凛とした生演奏をご披露いたします。なぜ、竹ノ内会長が年度方針説明において「き乃はち」様の曲を選曲されたのか、また、この曲から何を感じ取られたのかを、会員の皆さんに問いかけたいと思います。下期の大事なスタートです。中央会のチカラをみせたりしましょう！！

OB訪問 光電気LEDシステム株式会社

桶村清子OB（第36期ご卒会）を訪ねて



今月は第36期ご卒会の桶村清子OBを訪ねました。米子市夜見町にある光電気LEDシステム株式会社に所属され、現在営業部課長としてご活躍されています。会社は今年で25周年を迎えられ、LED照明の拡散型では

特許を取得されていて、全国に43店舗の代理店を持つメーカー的な立ち位置ですが、ここ米子においては昔からのお客様も多く施工も対応されていると伺いました。（現役会員の石田会員の会社(株)エコプレゼンスも代理店とのことです）

中央会活動を振り返り、委員長・副会長時代に委員会メンバー全員で取り組めた活動が1番印象に残っていると語って頂いた

桶村OB。現在でも当時の先輩と交流があり、現役時代チャレンジしてきたことで、今現在でもチャレンジすることが苦にならないそうです。

中央会生活の中で、あまり話さない人や苦手な人に対し、探求心が強い桶村OBは自ら飛び込んで苦手意識を克服されてきたと伺い、「委員会・例会・懇親会でも普段話さない人と積極的に話をしに行つてほしい」と現役会員へのアドバイスをいただきました。

桶村OBファンの方も多し中、取材させていただいたことは貴重なひと時でした。春頃には皆生観光センター前の照明も目見えますので、足湯に浸かりながらライトアップ観賞をいかがでしょうか？

桶村OB、大変お忙しい中お話を頂きまして有難うございました。

（記事：赤井）

中央会 Q & A

これまで中央会を卒会された女性会員は何名でしょうか？

～答えはHPIにて～

委員会訪問 ～広報委員会～

今月の委員会訪問は我ら広報委員会の登場です。

12月9日、松涛園にて広報委員会を開催しました。お忙しい中、竹ノ内会長、福山専務にもご出席頂き、半年間活動し、成長した石原委員長並びに委員会メンバーの姿を見て頂きました。

役員会報告から始まり、11月担当例会の反省、会員拡大や今後の委員会活動等について活発な意見交換を行いました。これからの広報活動について改めて委員会メンバー全員のベク

トルを合わせる事ができました。

委員会終了後は場所を宴会場に移し忘年会を開催しました。

来年もこの良い雰囲気のまま、最優秀委員会を目指し活動して行きたいと思えます。

これからも広報委員会は走り続けます！！

（記事：武田）



平成28年度中海圏域青年経済団体交流事業

「～ドミノで繋ごう！中海圏域！～」開催

平成28年12月3日（土）松江市において、平成28年度中海圏域青年経済団体交流事業「～ドミノで繋ごう！中海圏域！～」が開催されました。

ドミノを並べていたのは2時間でしたが、集中していたことや、崩してはいけないというプレッシャーもあって、精神的に疲れしました。みんなで集中してドミノを並べ、完成間際で並べたドミノ

が一部崩れてしまうというお約束のハプニングもあり、ドミノは綺麗に倒れてはくれませんでしたが大変盛り上がりしました。

夜は、有形文化財の旧米江旅館「松江巴庵」にて、和風建築の趣を感じながら安来YEG・松江YEGの皆さんと交流を深めました。

（記事：野口）



後輩へ

私の心の中ではつい先日、中央会に入会させて頂いたような気分ですが、あっという間に月日が経過し、遂に卒会を迎える年になってしまったなあ、まだまだ半人前だなというのが今率直に思う事です。

私が入会した当時は非常に態度が大きく、言葉使いも悪くおまけに風貌も悪いとんでもない新入会員だったと思います。そして実際に会に参加するのも苦痛を感じる時もありました。

しかし、諸先輩方のご指導と次々と入会されてくる仲間のおかげで中央会での居場所を見つけ、いつの間にか楽しくなり、役職を受けるようになり何とか今日に至っています。私が後輩の皆さんに伝えたいことは、自社の仕事も中央会の仕事も同じように自分の事として捉え責任をもって行動してくださいという事です。役職が回って来たときも快く受け、それを全うしてください。そうすれば、ポストが人を作り、次第に自分のそして自社の信用が形成されます。

最後に私もあと半年程度で卒会を迎えますが、会社や家庭の都合等で志半ばにして退会された方も沢山いらっしゃいます。ですから、中央会を卒会出来るという事は思いのほか難しく、とてもおめでたい事だと思います。

皆様も今後経済人として十分に会に・社会に貢献され無事卒会されることを希望し、私からのメッセージにかえさせていただきます。あと半年宜しくお祈りします。

千石 正信

（株）岩崎組 代表取締役





勇気ある決断

副会長 廣谷栄一

私は、情けない話ですが、平均以上に司法書士試験を受けています。私は一生司法書士になれないのではないのか、何度も合格できない私は司法書士になってはいけない人間なのではないか等、苦悩の年月を重ねていきました。しかし、何度落ちてでも、諦めない決断をした理由は、我が子の存在でした。将来もし子が挫折をした時、夢を諦めた私は何と声をかけられるだろうか。「私も諦めたんだ。夢を諦めた私の子どもの、お前も駄目さ。」そんな事は伝えたくない。「何度でも挫折しても良いんだよ。でも諦めなかったらきっと良い事があるから。だってお前は私の子どもの。」その言葉を伝える父になる為に続ける決断をしました。勇気ある決断・私の決断は、我が子が私に贈ってくれた勇気でした。

山進運輸(株) 新社屋完成

山口尚文県出向監事が代表取締役社長を務める山進運輸株式会社の新社屋が完成し、12月5日に境港市竹内団地に本社移転に伴い営業所が統合されました(本社住所:鳥取県境港市竹内団地158番地)。



「全国と戦っているこの地域の食品製造業のお客さんに、運送業を通して付加価値を付け、他の地域よりもより有利な状況になるように手助け出来るように社業に邁進したいと思えます。多くの方にお祝いや、おめでとうとお言葉をかけて頂きありがとうございました。今後も中央会生活を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します」と想いを語っていただきました。

(記事:渡邊 公平)

高下 寛人 O型
 (広報委員会) 懶エッグ システム開発
 〒683-0805 米子市西福原4-11-31
 TEL 36-8881 FAX 36-8882
 (H28.12 (H28年) 入会 (推薦者) 石原 (効) 上田 (康)) (KT) 090-5588-6834
 (EM) koge.h@egg.co.jp S51.04生

〈コメント〉この度入会させて頂きました、(懶)エッグの高下寛人と申します。10月に東京から20数年ぶりに米子に戻ってきました。中央会に入会させて頂き、自分自身が成長できればと思っています。宜しくお願い致します。

小坂 泰彦 B型
 (匠委員会) 備はなや 生花の販売等
 〒683-0004 米子市上福原6-11-30
 TEL 32-5501 FAX 35-8741
 (H28.12 (H28年) 入会 (推薦者) 村田 (博) 向井 (幸)) (KT) 080-4691-6324
 (EM) hanaya484@r9.dion.ne.jp S56.02生

〈コメント〉この度、入会させて頂きました有限会社はなやの小坂泰彦と申します。

諸先輩方より様々な事を学ばせて頂き、成長していきたいと思えます。ご迷惑をおかけする事もあるかとは思いますが、宜しくお願い致します。

私のこだわり

上村卓弘 (ダイニチ技研(株) 代表取締役)

辛いものが大好きなんです。入会当時にごちそうになった桃園のスペシャル麺も割りとは大丈夫でした(ただ翌日は大変)。そんな私から食のこだわりをご紹介しますと思います。

かつて大阪に住んでいた頃はよくキムチを買っていました。「大阪鶴橋 黄さんの手造りキムチ」というヤツが、癖になる味でお気に入りでした。

あとはテスソースに挑戦しています。朝日町某所にて激辛好きな娘と対戦しました。ルールはおつまみにテスソースをつけて食べるだけ。私は口にした瞬間に「痛っ！！！！ヒューー！！！！」という感触で汗ダラダラなのに、向こうは汗1つかかず…。完敗しました。

話を食に戻すと、酒盗も大好きです。酒盗とは「カツオの内臓を塩辛にしたもの」です。冷蔵庫に常備していますが、ごはんやお茶漬けの他、やはり日本酒と一緒にやるのが最高ですね。

これからもまだ出会っていない、色々な味に挑戦したいと思います。

野球部忘年会開催

12月19日(月)中国料理「大連」にて、中央会野球部忘年会が開催されました。

6月に卒会された拝藤先輩、長谷川先輩、松尾先輩に、記念のパーカーをお贈りしました。みなさん良く似合っ



ておられますね。本当にお世話になりました。ありがとうございました！来年も中央会野球部を宜しくお願いします！

(記事:野口)

1月役員会報告

平成29年1月役員会が同月5日(木)海潮園にて開催されました。

当日の主な内容は以下のとおりです。

- ・12月例会報告の件
- ・1月新年例会開催の件
- ・2月例会開催の件
- ・その他

詳細については各委員長にご確認下さい。

1月新年例会案内

と き:平成29年1月16日(月) 18:30~21:00

と ころ:米子全日空ホテル(飛鳥の間)

内 容:新年例会

担 当:第42期 総務委員会

編集後記

12月例会の和太鼓づくりは童心に帰ることが出来るとても楽しいイベントでした！鳥取県にもこんな素晴らしい伝統・匠の業があるとは知りませんでした！いつか子供と一緒に和太鼓づくりに挑戦してみたいと思います。

(広報委員会 松井)